

一 般 質 問 通 告 書

令和3年 北秋田市議会 12月定例会

順位	1-5	質問者	4	虻川 敬	(新創会)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
1. 北秋田市民病院について ①医師の充足について 1) 北秋田市は厚生連と連携して医師確保にあたっていると思うが実際どのような手法で医師の充足にあたっているか実績を伺う。 2) 昨年度決算報告において医師の充足率は確かに法定標準数よりは足りているという報告ではあるが、実際には常勤医でどの診療科が何人不足していると把握しているか当局の見解を伺う。 3) 全国的に見ると他県では地域医療センターが設置され求人医療機関と求職医師のマッチングがなされている。秋田県においてはどのような機関がその機能を果たしているか。またそういった機関があるとすれば市としてはどのようにかかわって活用して来たか。なかったとすれば県に対し今までそのような機関を作ってほしい旨要望等行っていたか。 4) 医師確保ができないのは何が原因と考え、その改善のためにどういった整備が必要と考えているか当局の考えを伺う。 5) 特に救急救命医や、産婦人科の医師不足が深刻であると考えるが今後この医師確保のために市独自でできることはあるか。 ②公立病院改革プランについて 1) 平成29年に策定された北秋田市新公立病院改革プランは平成32年つまり、令和2年までのプランでありました。令和3年である今、公立病院改革プランが更新されていない理由は何か。							

2) この公立病院改革プランとは、2007年に成立した自治体財政健全化法を受けて総務省は「公立病院改革ガイドライン」を策定し各自治体へ発出し、全国の各自治体はこれに基づいて「公立病院改革プラン」を策定して公立病院の経営改善に動き始めたと把握していますが、北秋田市がこのプランを策定したのは新公立病院改革プランが提唱された平成27年の後の平成29年からであるが、このプランの重要性をどう考えているか。

3) この改革プランをどのようにして運営に活かしていくか。

③北秋田市民病院までの緊急車両の運行ルートに関して確認

1) 旧鷹巣地区中心市街地から北秋田市民病院までの最短ルートは空港の滑走路下のトンネルを通るルートであるが、もしそのルートが事故や何らかの原因で通行できない場合はどのようなルートを検討しているか。その際、緊急搬送において人命救助の観点から問題はないか。

④北秋田市民病院の今後の運営課題について

1) 北秋田市民が、近隣自治体エリアの病院又は遠方の病院への通院、入院など、患者の地域外への流出があると思うが、その実態数を伺う。またその原因は何ととらえているかも伺います。

2) 北秋田市民病院は市の指定管理施設であり、指定管理料、建物の償却コスト割合が多く運営は厳しい状況ではあるが、地域に必要な施設であることに変わりはない。しかし交通アクセスの問題、人口減少における患者の絶対数減少など総合的に経営リスクが高いと感じるので、現状の場所から市民の方々が使いやすい交通インフラの整った場所へ今後のニーズに合った規模間での移転を検討してはどうかと提案するがそのことに関して市の見解は。

3) 上記1)、2)を検討する際、ネックになる部分はあるか。

4) 市の負担減と市民の命と市民の健康を守る事を同時に実現させるため、現在の市民病院を例えば、首都圏の大きな病院組織に運営委託することで最先端医療の充実、十分な医師確保などが実現できる様にするなど、北秋田市の医療環境を本当に根本から見直そうという考えなどはないか。

2. フィルムコミッションについて

①フィルムコミッションの必要性について

- 1) 先の議会で、フィルムコミッションの設置に関し前向きに検討を始める旨答弁されたが、その後、どのような協議があったか。
- 2) 先の議会で財政負担と費用対効果を検証し検討すると答弁があったが、フィルムコミッションの整備があるからこそ北秋田市が注目されるチャンスにつながり、その先に今後の北秋田市の営利、経済循環に繋がると考えるので、フィルムコミッションの設置は最高の戦略的先行投資と考えるが、検討の方向性は怎么样了か。
- 3) 地域内の団体でフィルムコミッションに関し運営したい旨の要望はあるようだが、費用面で問題があるのであれば、市独自で組織化し運営すべきと考えるが、その考えはないか。

3. 今後の当市の経済発展・活性化について

①今後の当市の活性化ビジョンについて

- 1) コロナで生活環境、経済の循環環境は大きく変化し、コロナが終息したとしてもコロナ以前に生活環境が戻ることはありません。アフターコロナを見据え千載一遇のチャンスととらえ、新たな地域づくり、新たな生活スタイル、新たな経済循環のための準備を着々と進めている自治体も全国的に見ても多くあるのではと考えられます。当市ではアフターコロナにすぐに打ち出せる新たな一手をどのように考えているか。考えているのであれば具体的な方針は何かを伺う。
- 2) 北海道・北東北の縄文遺跡群が世界遺産登録され地域にとって経済活性化の起爆剤になると考えるが現在市で行っている経済循環に繋がる主な取り組みは何か、また今後のビジョンは。